

「クレジット会社や携帯電話会社から高額請求をされた」「未成年の子どもがオンラインゲームで高額課金をしていた」「親に内緒で課金したのだから払いたくない」という相談を受けることがあります。未成年者がゲーム利用時に、成人年齢を入力した、親の同意を得たと入力した、親のアカウントでゲームをした、という場合は、利用者と対面していないゲーム業者やデジタルプラットフォームなどで、その条件で高額利用ができるようになります。

オンラインゲームの課金も契約です。法定代理人（親や未成年者後見人）が同意していない未成年者（18歳未満）の契約は、未成年者本人や法定代理人が取り消すことができます。これを未成年者取消といえます。ただし、相手に未成年者が成人だと信じさせたり、法定代理人の同意を得たと思わせたりした場

合、未成年者取消は使えません。

未成年者の高額課金を防ぐためには、法定代理人は未成年者のゲーム利用を認めたら、未成年者の申告内容を知っておく、自身のスマートフォンなどにクレジットカード情報を保存しない、クレジットカードやスマートフォンなどを適切に管理する、決済通知メールを早めに見る、決済の合計額を把握する、携帯電話会社やクレジットカードの決済上限を下げる、ゲーム会社、デジタルプラットフォームや携帯電話会社などのペアレンタルコントロール（親が子どもの利用環境を管理する機能）を利用するなどの対策を取りましょう。

困ったときには、早めに市の消費生活センターや県の消費生活総合センター（☎052-962-0999）などに相談しましょう。

ポイント

法定代理人が高額課金の予防対策を取ることで、防げる可能性があります。

市の消費生活相談

とき 月・水・金曜日 午前9時～正午 火・木曜日 午後1時～4時
ところ 市役所 消費生活センター



令和4年第5回(9月)

市議会定例会

9月市議会定例会が8月30日～9月28日の30日間の会期で開催されました。一般会計補正予算案などが上程され、慎重に審議された結果、原案どおり可決、同意などされました。

一般会計・4特別会計・下水道事業会計を補正

一般会計では、歳入歳出それぞれ19億5,641万2千円を追加し、総額を293億503万4千円としました。歳入の主なものでは、市税で法人市民税などを1億円、繰越金で8億6,616万4千円を追加するなどしました。

歳出の主なものでは、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の給付など、物価高騰などへの対応のため必要となった経費として、6億3,581万2千円、新型コロナウイルスのオミクロン株対応ワクチン接種など、感染拡大防止のための経費として、7,640万円を追加するなどしました。

条例の一部改正など

道路占用料および公共用物の使用料を改定するための尾張旭市道路占用料条例及び尾張旭市公共用物の管理に関する条例の一部改正についての議案、市道路線の認定についての議案、尾張旭市立東部保育園の指定管理者の指定についての議案などが原案どおり可決されました。

決算の認定

令和3年度一般会計歳入歳出決算や5特別会計歳入歳出決算、水道・公共下水道事業会計利益の処分及び決算と、令和4年3月に解散し本市が事務承継した尾張旭市長久手市衛生組合の令和3年度一般会計歳入歳出決算が認定などされました。



河村晋さん



鈴木厚子さん

教育長に河村晋さん、教育委員会委員に鈴木厚子さん

任期満了(9月30日)に伴い教育長の河村晋さんを再度任命すること、堀祐子さんの後任の教育委員会委員に、鈴木厚子さんを任命することが同意されました。

